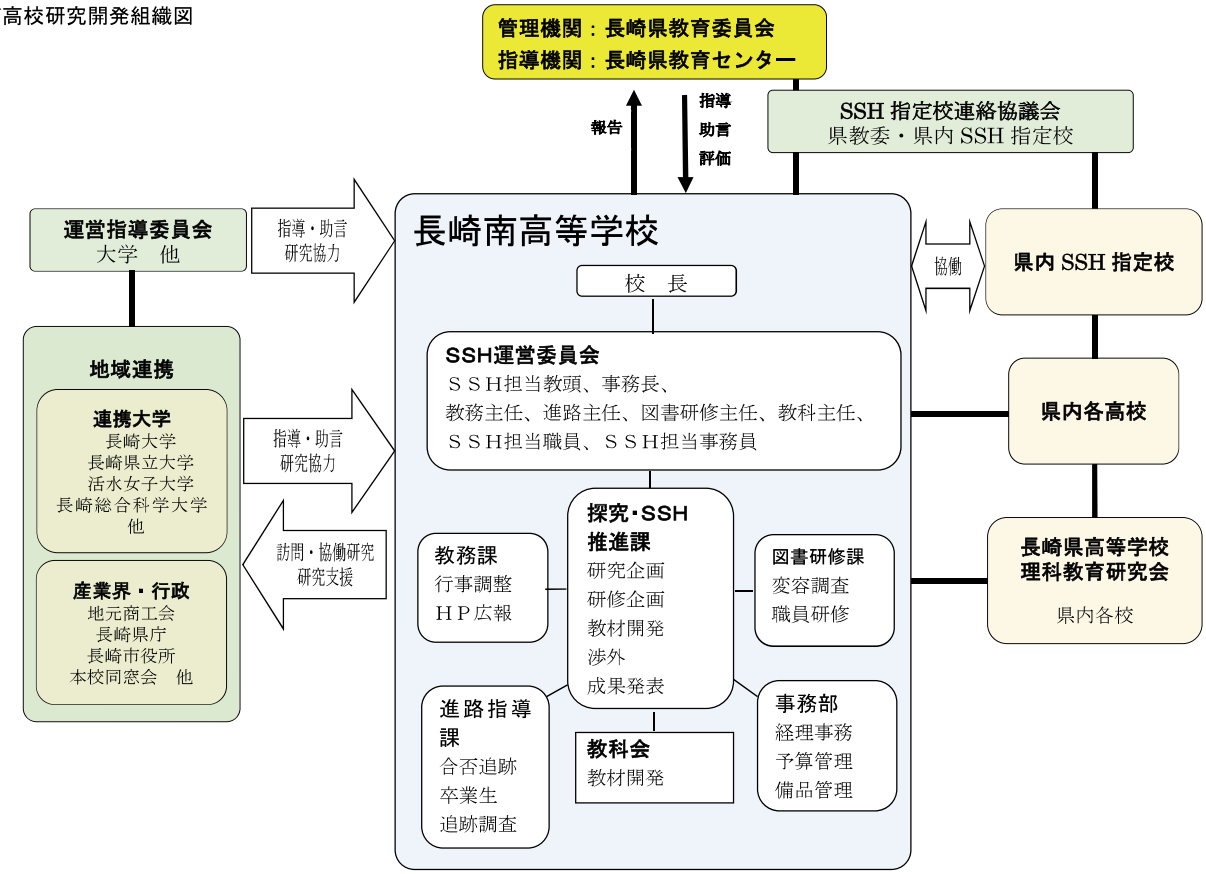
4　校内における SSH の組織的推進体制

本校の SSH 事業の企画は、校長の指示のもとに探究・ＳＳＨ推進課が行っている。さらに校長、教頭２名、事務長、各分掌主任、各学年主任、各教科主任からなるＳＳＨ運営委員会における協議を行い、職員会議にて職員全体の共通理解を図り、職員全員体制で各事業を展開している。

ＳＳＨ研究開発部は、主任・副主任を含む計７名（各学年に配置）とＳＳＨ事務担当者で構成されており、毎週１時間の分掌会議を開催し、各事業の詳細を検討し企画運営を行っている。

毎年度当初の４月には、新転任者オリエンテーションにおいて、本校ＳＳＨ事業の説明を実施し、目的・目標、事業概要について説明を行っている。さらに、４月の職員会議後に職員研修として、本校職員全体に対し、研究開発の目標・内容についての周知を行っている。

本校の組織については以下の通りである。

長崎南高校研究開発組織図